

令和5年度（2023年度） 学校関係者評価票

★下票中央の「評価」は本校職員の「自己評価」結果を示したものです。（4：十分である 3：おおむね十分である 2：不十分である 1：改善を要する）
 ★この評価は学校課題の検証や改善に向けた「自己評価の妥当性や改善方策の適切さ」について、皆様に評価をお願いするものです。

評価1 下票右側の「自己評価の適切さ」について、各項目（8項目あります）を4段階で評価ください（該当の数字に○をお付けください）
 （4＝適切な評価である 3＝ほぼ適切な評価である 2＝やや不適切な評価である 1＝不適切な評価である）
 評価2 下票右側の「改善に向けた取組の適切さ」について、各項目（5項目あります）を4段階で評価ください（該当の数字に○をお付けください）
 （4＝適切な評価である 3＝ほぼ適切な評価である 2＝やや不適切な評価である 1＝不適切な評価である）
 評価3 その他評価方法全般にわたり、ご意見ご要望等がありましたら「記述欄」にご記入ください。

領域	対象	今年度の目標	目標達成のための評価の観点	評価	改善の方策等	自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ
教育活動	学習指導	①生徒の学習意欲の向上と学習習慣の定着を図る指導方法を工夫する。 ②主体的・対話的で深い学びを生み出す授業改善と指導方法の工夫 ③学習評価の工夫・改善	1 個に応じたきめ細かな学習指導が進められたか	3.1	○個に応じたきめ細やかな学習指導については継続し、さらなる改善につなげたい。 ○深い学びの実現のため、ICTを活用した授業改善はもとより、教科横断的な学び、総合的な探究の時間の充実など、教科・特別活動の連携を図る。 ○観点別評価を推進し、生徒の学習状況を把握するとともに、生徒の実態に応じた授業改善を推進する。	3.1	3.3
			2 基礎基本の定着を図る取組が十分なされたか（授業研究、教材開発など）	3.2			
			3 生徒の適性や能力を把握した学習指導がなされたか	3.2			
	生徒指導	①生徒理解を基本とした生徒指導を推進する。 ②教職員の協働により、生徒一人一人に規範意識をもたせ、自律的態度を身につけさせる。 ③学校行事や部活動を通して積極性や社会性の涵養に努める。	4 適時の声かけや教職員の共通理解や情報共有が図られたか	3.4	○共通認識のもとで指導に当たることができるよう、情報の共有を徹底する必要がある。 ○社会人としての資質を育成できるよう、基本的な生活習慣や他との関係づくりなどを継続して指導していく。 ○町内外でのボランティア活動に積極的に参加することはもとより、その機会を創出する。	3.2	3.3
			5 自己管理能力や規範意識の育成が図られたか	3.1			
			6 いじめについて、未然防止、早期発見・早期対応に向けた実態把握や相談・指導体制がとれたか	3.6			
			7 学校行事、地域行事、ボランティア活動等への積極的な参加がなされたか	3.5			
	進路指導	①生徒のニーズに応じた進路指導を徹底し進路目標を実現する。 ②望ましい職業観・勤労観を身につけるため系統的なキャリア教育を推進する。	8 学年到達目標に沿った指導の実施がなされたか	3.5	○卒業時の進路実現はもとより、将来の生き方に向けた進路指導を入学時より計画的に取り組むよう努める。 ○様々な場面で組織的に進路指導に当たり、成果を上げることができた。 ○生徒の実態が学年ごとに異なるため、学年団や外部機関と連携し、よりきめ細やかな進路指導の充実に努める。	3.7	3.6
			9 ガイダンスと面談が充実されたか	3.5			
			10 個別指導（個別面接、進路講習、面接指導、作文指導等）の充実がなされたか	3.0			
			11 分掌・学年及び地域と連携した系統的計画的なキャリア教育が行われたか	3.3			
	健康・安全指導	関係機関と連携・協力し、健康・安全指導の充実を図る。	12 関連教科での指導や関係機関と連携した講演会が実施できたか	3.2	○新型コロナウイルス感染症対策など、確実な対応をとることができた。 ○今年度同様、外部機関と連携し、健康・安全に対する意識の向上に努める。	3.5	3.5
			13 関連教科、特別活動等を通じた性教育の充実がなされたか	3.1			
			14 各種講話や避難訓練等の効果的な活用がなされたか	3.5			
教育活動	特別支援教育	生徒支援委員会を中核とした指導・支援体制の充実を図る。	15 校内体制の確立と研修がなされたか	2.9	○様々な特性を持つ生徒について、義務教育段階からの引き継ぎの徹底と、事例研修などをとおした統一した対応を図る必要がある。 ○スクールカウンセラーやパートナーティーチャー等の外部支援と連携し、生徒の状況を客観的に見える化し、統一した指導の徹底を図る必要がある。	2.9	3.0
			16 個別の支援計画及び指導計画が作成されたか	2.8			
			17 巡回相談等の活用と特別支援学校との連携がなされたか	3.3			
学校運営	信頼される学校づくり	①学校HPを中心とした学校情報を積極的に発信する。 ②地域の教育力を活用し、教育活動を円滑に推進するとともに学校の教育力を地域に還元する。 ③各学校段階間の連携・接続を推進する。	18 教育活動や取組を保護者や地域に分かりやすく発信されたか	3.5	○学校ホームページや学校だより等を活用し、さらなる情報発信に努める。 ○授業参観や出前授業など、学校間連携を推進し、地域の学校として子どもを育成するとの意識を高める。 ○コミュニティスクールを活性化し、地域とともにある学校づくりに努める。	3.1	2.8
			19 コミュニティスクールなどによる地域と一体となった教育活動が推進されたか	3.3			
			20 小学校や中学校、大学との学びの連続性及び学校間連携を踏まえた取組が推進されたか	3.1			
	組織運営	①対話を重視した職場づくりを推進し教職員間の信頼関係を深める。 ②ミドルリーダーを養成し学校経営参画意識を高揚する。 ③教職員の個別の状況把握と業務改善及び健康安全管理に努める。	21 報告、連絡、相談の徹底を通じ、目標や課題意識が共有され解決・改善に向けた協働体制がとれたか	3.3	○校務の見直しをとおして業務の平準化を進め、有機的な学校運営を推進できるようさらなる連携・協働体制を強化する。 ○生徒の安全な学びを保障するため、様々な場面において、危機管理の意識を高められるよう努める。 ○教職員の協働による業務の推進及び定時退勤日の徹底により、教職員の働き方に対する意識を高め、時間外勤務の縮減に努める。	3.3	3.4
			22 学校組織における自己の役割・責任を認識し校務の平準化が図れたか	3.2			
			23 健康管理と時間外労働縮減の取組は十分になされたか	3.4			
			24 全教職員による危機管理意識を高められたか	3.3			
	教職員の資質・能力の向上	①教科指導力の向上を図るため研修機会の確保に努める。 ②面談や授業観察を活用し、適切な指導・助言を行う。 ③法令遵守を徹底し、服務規律に係る啓発・指導に努める。	25 授業力向上のための教材研究や授業評価の活用がなされたか	3.3	○校内外の研修の機会を逃さず、教員一人ひとりの資質・能力の向上を図る。 ○校外の研修の成果を、教職員で共有する体制を築き、全体で学び続ける姿勢をもつよう努める。 ○服務規律の保持するよう、啓発及び声かけを継続する。	3.2	3.4
			26 校内研修の充実、自己啓発や各種研修会への積極的な参加がなされたか	3.3			
			27 服務規律の徹底と規範意識の向上がなされたか	3.5			

意見等
 ・進路活動に向けて、学校・美瑛町などの連携、本当にすばらしく感謝の気持ちです。また、今後特別支援として、特性を持つ子がすぐく成長できる場所としてアピールしていくことも必要だと考えます。個のサポートがすばらしいので、本校であればできるのではと思います。
 ・特別支援教育については、義務教育と高校教育との制度的な違いが垣根を感じます。学校側の意識（支援教育への理解）改革が必要だと思います。コロナの関係もあるのですが、生徒さんが外で活動している場面がない（？）、見えてないのかなと感じてます。あと、美瑛中とか何かしらの事業ができれば良いと思います。